

復興に駆ける！

第 28 号
平成 26 年 5 月 29 日発行
岩手県立
生涯学習推進センター
TEL 0198 - 27 - 4555

◇ 今回はこの方を紹介します。

NPO法人 せんだいファミリーサポート・ネットワーク 伊藤 仟佐子(いとう ちさこ) 代表理事



伊藤代表理事

せんだいファミリーサポート・ネットワークは、平成 15 年に子育て家庭支援を目的に設立された NPO 法人である。仙台市が初めて設置した子育て支援施設「のびすく仙台」を、平成 16 年に開設以来 10 年間指定管理している。利用料は無料で、親子が自由に立ち寄ることができ、公共施設では初めて飲食を可能とした。また有料で子どもの一時預かりも行っており、お母さん方が買物や美容院等へ行く

際に気軽に利用して、ちょっとしたリフレッシュもできるよう配慮している。

震災時、伊藤代表は「のびすく」にいた。幸い建物等への被害は無く、翌々日には片付けを開始し、4 日後には開所時間を短縮した形で再開した。再開するとすぐに、「子供服があれば分けて欲しい」と、津波の被害にあった家族が来館した。たまたま、次の日にバザーをしようと集めていた服があったのでそれを提供した。そのほかにも、「子どもを遊ばせたい」、「転勤してきたばかりで友達がおらず、余震が怖くて家にいられない」などという理由で住民が集まってきた。「この時期に開所する意味が本当にあるのか」と自問を繰り返していた伊藤代表だったが、「のびすく」が必要とされていることを確信した。

数日経つと、「のびすく」を以前利用していて、転勤などで仙台を離れた全国の方々から支援物資が届き、それを仕分けして被災地へ送る活動も行った。その活動が落ち着き始めた頃には、「お母さんたちのしゃべり場」を開催し、母親たちに寄り添う活動を始めた。この活動は、仙台のみならず、東松島市や石巻市でも行っている。

「のびすく」では、震災前に「防災ハンドブック」を発行し、災害への備えについて啓発していた。更に、「パパのための子育てサポートブック」も発行しており、どちらも分かりやすくまとめられていて、本県の子育て世代にも大変参考になるものである。

(※3月20日、「のびすく仙台」にて三橋が取材)



「防災ハンドブック」と
「パパのための子育てサポートブック」

連絡先

NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク
TEL 022-714-2088
Email : sefami@rhythm.ocn.ne.jp